

ジュマンスの一番有名な歌だ”と思います。佐藤伸治の「新しい音楽がしたい」という気持ち、すばらしい才能や創造力が感じられる、夢のような歌です。彼の声は感情的で、聞く人に「また聞きたい」と思わせるので、大好きです。

バンドが解散してしまっただのは、1999年の3月に佐藤伸治が亡くなったからです。心臓の病気があったため、佐藤伸治の具合はずっとよくなかったそうです。佐藤伸治の死から、人はいつ死ぬかわからないから夢を待たないという大切な教訓をもらいました。人生は予測不能だから、毎日夢を追うことが大切です。彼は33歳までに世界中の人に愛される曲をたくさん作り、若い頃からいって夢がかなわないうわけではないことを教えてくれました。たまたま33歳で死んでしまったことは誰にとってももちろん悲劇的ですが、彼の死は私に勇気と自信を与えたような気がします。

実は、初めてフィッシュジュマンスを聞いた時は、日本語の歌詞が理解できませんでした。それで、

歌の内容を理解したいと思、たことがき、たけど、
日本語を勉強し始めました。最初に理解できた歌
詞の一つに、^何「ゆらめき In The Air」という歌の
何度もおなじ話をしてる / き、きとおなじ / タ
暮れがダ、てこない (...) / ボクらのみつけた
偶然の空 / タ暮れがダ、てこない (...) / Ah - ダ、
てこない、という部分があります。勉強に苦労し
て少し成績が落ちていた時期だ、たので、この歌
詞に救われた気がしました。その他にも、フィッ
ッシュマンズは悲しい気持ちをたくさん歌にしてい
て、共感できる歌詞がすごく多いことに気がつき
ました。今私が歌を書く時、聞く人を幸せにでき
るかどうか、佐藤伸治を参考にし自分の気持ちを
を歌詞に込めています。
今でも、フィッシュマンズの日本語の歌詞を聞
いたり歌ったりすることは私の日本語の練習の助
けになっていきます。そして、授業で学ぶ教科書の
日本語に比べて、抽象的なフィッシュマンズの歌
詞を聞くのは、別の楽しさもあります。天国の佐
藤伸治が「アメリカの大学生がフィッシュマンズ

の音楽で日本語を練習している。と知ったら、敬馬
くかもしれません。遠い将来、佐藤伸治に会った
ら、フィッシュマンズのおかげで日本語が学べた
ことと、フィッシュマンズによって自分の音楽と
生活が変わったことについて、日本語でお礼が言
いたいです。そのためにも、これから日本語の
勉強を続けていきたいと思っております。
皆さんは「自分の人生に影響を与えてくれたの
はこれだ」というものがありますか。皆さんに
も必ず、私にと、このフィッシュマンズと佐藤伸
治があったはずか、これからあるはずで。まだ
ない人には、ぜひ見つけてほしいです。見つけら
れない、そんなものがあるなんて信じられない。
と言う人は、まずフィッシュマンズを聞いてみて
ください！